

# いわき市連携「未来を支える産業人材育成事業」 ～浜通りに届ける復興の風プロジェクト～



## 事業概要

原発事故以降、再エネ拡大に向け、「福島イノベ構想」「福島新エネ社会構想」により、強力に推進されてきたところである。そこにさらに「2050年カーボンニュートラル宣言」及びそれに伴う「グリーン成長戦略」が策定され、再エネを取り巻く環境は、国内、福島県内において大きな過渡期を迎えており、いわき市でも風力産業政策を進めている。本事業では、いわき市が目指す風力発電をはじめとした再エネによる新産業創出に向けた取組みと連動して、東大先端研が培ってきた再エネ分野の研究・人材育成ならびに、インクルーシブな社会システムを支える働き方の知見を活用し、被災地域の関係教育機関や企業・団体等と連携し、復興・カーボンニュートラルを支える将来人材を育成、新たな労働環境の形成と地域の交流人口の拡大を図る。

風力発電をはじめとしたカーボンニュートラルを支える人材育成に寄与し、毎年、風力業界に就職する人材を輩出するなどの着実な成果を創出しながら、いわき市の産業政策に連動・貢献した人材育成事業



【浜通り地域展開への道筋】



いわき

浜通りに展開

地域全体へ

## ①復興・カーボンニュートラルを地域で支える人材育成

これまでの福島高専との連携事業、いわきアカデミアとの連携事業を、継続的に取り組むことで、復興やカーボンニュートラルを地域で支える人材育成に貢献する

## ②新たな労働環境の形成

働く能力があるにもかかわらず、障害特性や雇用条件の不一致などにより就労機会から排除されがちな地域人材（潜在的労働力）が適切な雇用条件のもと、社会に参画できるインクルーシブな働き方を導入することで、復興に携わる人材の範囲拡大に貢献する

## ③浜通り地域への交流人口の拡大

浜通り地域への交流人口を拡大することにより、復興に向かう地域への理解を深めるほか、地域外からの復興を支える新たな担い手となる人材獲得に貢献する



### ①カーボンニュートラル人材育成

小中学生に再エネの将来性・重要性の出前授業、福島高専と連携した風車実機を活用したインターンシップ・専攻科学生への風力講義を実施。段階に応じたプログラムを展開。



### 超短時間雇用

「超短時間労働」で雇用を多様化する  
1日15分からでも企業で働けるモデルの研究、社会実装

### ②新たな労働環境

新たな障がい者雇用制度（超短時間雇用制度）の地域ではじめての事例が動き出すところ。



### 地域共創 ユースサミット

### ③交流人口の拡大

商工会議所を中心とした賑わいづくりに向けた対話、地域内外の学生との交流、花火大会などの交流人口拡大機会を促進するために混雑緩和に向けた人流制御策の構築に係る検討を実施。



## これまでの継続した復興知事業 (事業のアウトプット)

地域の教育機関や経済団体との適切な連携の基、復興に携わる人材の育成・範囲の拡大・新たな獲得に寄与

## 知識習得・人数増

将来人材

産業人材

## 活動内容・成果

将来人材、産業人材の育成を継続的に行うことで、風力産業に関する知識を習得し、風力市場に対する興味関心を抱く地域の人材を多く創出することに繋がっている。実際に風力業界に就職を希望する学生も輩出している。そうしたこれまでの取組みにより、地域全体で風力産業に対する意識や機運が醸成され、また、風力市場への期待や参入意欲が高まったことが要因となり、地域人材を風力市場へ参入可能とさせる、いわき市発で全国初となる「いわき市風力発電メンテナンス人材認証制度」の構築に向けた動きにつながった。

## 来年度以降の活動に向けて

これまでいわき市で実施してきた活動を徐々に浜通り地域に展開していく。いわき市内で実践してきた人材育成などを地域の復興の実情に応じて実施することが不可欠である。地域の課題を洗い出すとともに、地域内の関係機関との適切な連携体制を構築していくことで、ニーズに合った、かつ、取組みの実行性を確保していく。その来年度の活動に向けて、福島双復興推進機構などの機関・団体との情報交換・意見交換を開始したところである。